

## 平成26年度 第1回江別市行政評価外部評価委員会 会議録（要点筆記）

日 時：平成26年4月18日（金） 15:00～16:00

場 所：江別市民会館 21号室

出席委員：加藤敏文委員、千里政文委員、井上宏子委員、山下善隆委員、小野孝雄委員、喜多馨委員、中井和夫委員、中尾敏彦委員（計8名）

事務局：三好市長、企画政策部山田部長、米倉次長、政策推進課千葉課長、西田参事、中島主査、長谷川主任

### 会議概要

#### 1 委嘱状交付

#### 2 開会

#### 3 市長あいさつ

#### 4 委員の紹介

#### 5 委員長・副委員長選出

委員の互選により、井上宏子委員長、加藤敏文副委員長を選出

#### 6 議事

(1) 江別市における行政評価外部評価について

(2) 平成26年度行政評価外部評価委員会スケジュール（予定）

#### 【資料説明】

議事（1）及び（2）について、事務局より一括して資料説明

#### 【質疑】

##### ○ 中井委員

行政審議会もこの委員会と同じように事務事業評価や施策評価を行うという位置付けになっており、総合計画策定にあたって意見を聞いた後は、成果を報告して審議するという風に整理されていたと思う。もう一つ、行政改革については行政改革推進委員会で外部評価というか、報告を受けて評価することになっていると思うが、それらの審議会・委員会とこの外部評価委員会の役割の違いというか、関係性はどのようになっているのか。

## ○ 事務局

行政改革推進委員会は、市が行政改革としてどのようなことに取り組んでいくかということについて審議していただくものである。外部評価委員会は、市が自分たちの仕事を自己評価した結果について、その評価結果が有識者や市民などの外部の視点から見て妥当かどうかを審議していただく委員会となっている。

## ○ 井上委員長

資料2の「江別市における行政評価外部評価」の部分でご説明いただいたところである。行政評価そのものは、行政が仕事に対して目標を決めて取り組んだ結果について、自己評価を行うものである。その評価が本当に市民の目から見て正しいかどうかということを外部の視点でもう一度チェックするという役割を担うのがこの委員会である。施策や事業に色々と取り組んだ中で、それぞれ評価を行うので、その評価が私たち市民から見て妥当かどうかという見方になる。たとえば平成22年度であれば、外部評価の対象とする施策をいくつか選定して、その施策の評価結果について外部評価委員会で外部評価を行った。今年度は、その外部評価の方法自体を、27年度以降どのようにしていくかということについて協議することになる。これまでと同じ外部評価のやり方を継続するのではなく、どのように外部評価していくのか、その方法をこれから検討していくにあたって、みなさんから色々のご意見を出していただくということである。

## ○ 中井委員

前の外部評価委員会のときにそのような協議がなされたのではないかと。今回そのような説明が全くなかったが、委員長がおっしゃられたような説明であれば理解できる。それから、前回外部評価した報告書を配ってもらうことはできないのか。前回の内容に捉われて先入観がある協議になっては困るという理由で配らないのか。

## ○ 井上委員長

前回の外部評価のまとめを配ることは可能である。外部評価委員会から指摘した事項を各部局で修正し、次年度以降に活かすことになっており、どう対応したかの報告がまとまっていると思うので、必要であれば次回までに事務局から提示していただき、委員全員で共通認識をもってスタートしたいと思う。

## ○ 事務局

今までは、行政が行った内部評価の帳票を外部評価委員会に見てもらい、各方面の視点から外部評価していただくという作業であった。この度、平成26年度から第6次江別市総合計画がスタートしたが、まだ1年のサイクルが終わっていないため、内部評価結果が出ていない。そこで、資料4で説明させていただいたように、今回の外部評価委員会では来年度以降、行政が内部評価した結果に対して、どのような形で外部評価をしていくかという点についてご意見をいただきたいと考えている。そして、これから協議していただくにあたっては、中井委員のおっしゃるとおり、これまでどのような形で外部評価してきたかということをおある程度理解していただく必要があるため、前回までの外部評価結果の報告書を各委員に提示したいと考えている。その辺りの説明や具体的な

協議内容については、第2回委員会以降に説明を予定しているため、今回は資料を用意していない。

○ 井上委員長

今、事務局から説明があったように、第2回の委員会で他市の事例紹介等をしていただき、それを踏まえて我々外部評価委員会としてどのようにこの制度を運用すべきかについて意見を出し合って、第3回委員会以降で具体的な外部評価制度そのものの在り方について協議をしていくことになる。ここが大事なところで、それを踏まえて次年度以降の外部評価の仕方を行政に検討していただくことになる。つまり、制度の大枠を考えることになるため、重要な役割を担うことになる。

○ 小野委員

質問が重複するかもしれないが、従来は事務事業評価という、900本くらいある事業を各部局が内部評価したものを外部評価委員会がチェックしたということか。

○ 事務局

これまでの第5次総合計画でどのように外部評価を行ってきたかということ、資料3の左側の図で第5次総合計画の構造を示している中にある、31本の施策の部分について、行政が作成した達成度報告書の内容を外部評価委員会で外部評価していただき、評価の妥当性などをチェックしていただいていた。事務事業評価結果すべてを外部評価していただいたのではなく、総合計画の推進にあたって中心となる施策の部分について外部評価していただいたということである。

○ 喜多委員

結論としては、行政評価結果について外部評価するという作業は、今回は無いということではどうか。そして、従来どのような形で外部評価をしていたのかを参考にしながら、今後どのように外部評価をしていくのかという外部評価のあり方そのものを改めて検討するというところでよろしいか。

○ 事務局

資料3のとおり、今年度スタートした総合計画は、これまでの総合計画から大きく形を変えている。総合計画の形が同じであれば、外部評価の手法もそのまま全く同じ手法を継続するという事も考えられるが、今回は大きく形が変わったため、まず総合計画のどの部分を外部評価の対象とするか、そしてどのような視点で外部評価するかということについてご意見をまとめていただき、それを踏まえて最終的に行政として外部評価の仕方を決定したいと考えている。

○ 小野委員

第5次総合計画での外部評価は何回やったのか。情報公開コーナーの資料で確認したところ、平成24年11月頃にまとめた報告書があったが、今年の3月で終了した第5次総合計画に関して、これからまとめの評価をやるということなのか、それとも25年度分もそのうち報告書が出てくるのか。

○ 事務局

これまでの経過として、外部評価制度は対象を第5次総合計画の31施策として平成22年度からスタートした。31施策すべてを1年間で外部評価することは困難であるので、年度ごとに数本ずつに分けて実施した。平成22年度には外部評価委員会を4回開催し、6施策外部評価を実施した。同様に平成23年度は委員会を5回開催して12施策を、平成24年度は5回開催して13施策実施した。それぞれ2つの部会に分けて、分担して外部評価していただいた。平成24年度で31施策すべての外部評価が終わったことと、平成25年度は新しい総合計画策定作業があり、これから行政評価をどのような仕組みにしていくかを検討している最中だったことから、外部評価委員会は開催していない。そして、平成26年度から新しい総合計画がスタートしたことから、新しい総合計画での行政評価サイクルが一巡する平成27年度以降、どのような形で外部評価を実施していくかについて、改めて外部評価委員会からご意見をいただきながら決めていきたいと考えているところである。

#### ○ 小野委員

それでは平成24年11月の報告書が第5次総合計画についての最後のまとめということか。現実には去年1年間、平成26年3月まで第5次総合計画にもとづいて活動していると思うが、その部分についてのまとめは無いということか。

#### ○ 事務局

外部評価委員会には、年度ごとに次年度に向けた予算要求等の時期である11月頃を目途に外部評価報告書をまとめていただき、それを各部局にフィードバックしてきた。表現の分かり難さといった点への指摘については、翌年度以降の評価作業の際に修正等の対応を行い、施策の展開等に対するご意見についても翌年度以降の参考とするよう現場にフィードバックしている。また、第6次総合計画の策定作業にあたって、まだその段階では第5次総合計画は終了していないが、その時点での総括を行っており、その際にも外部評価結果を各部局にフィードバックし、それを踏まえて第6次総合計画を組み立ててきたという経過になっている。

#### ○ 井上委員長

今回の資料として、第5次総合計画ではどのように行政評価を行い、そこに外部評価がどのように関わっていたのかがわかるようなものを用意していただきたい。そうすると、第6次総合計画の行政評価の中で、外部評価がどのように関わっていけばよいのかを想起しやすいと思う。従来と同じではなく、新たな制度にするのであるから、そのことがわかるような資料にさせていただけるとありがたい。

先ほど事務局から年間スケジュールについて説明があったように、意見交換・協議する日は少し時間を多めに取る予定となっているので、資料としては重いと思うが、委員である役割責任として配布された第6次総合計画書を一通り丁寧に読んで、我々外部評価委員会は何をしなければいけないのか、外部評価をどのようにしていくべきかについて、各自お考えを持って次回の会議にご出席いただきたいと思う。

### (3) その他

- ・ 事務連絡 次回委員会の日程調整について
- ・ 要望
  - 中井委員

できれば資料は事前に送付していただきたい。短時間で議論をまとめるため、議論の時間を多くすべきと考えるので、特に前回までの外部評価結果の資料等については十分勉強するために予め送付していただけるとありがたい。

## 7 閉会